

01 はじめに

個人情報の流出や不正アクセスは、大学生活を脅かす深刻なトラブルです。学内には、あなた自身や他人の大切な情報が数多く存在します。被害者、あるいは意図せず加害者にならないために、正しい情報管理とシステムのルールを身につけましょう。

02 情報を守る基本

- ① **重要情報は徹底管理**: パスワードや個人情報は、自分だけの機密情報です。
- ② **強いパスワードを設定**: 他人に教えないことはもちろん、生年月日など推測されやすいものは避けましょう。

03 漏えいトラブルを防ぐ

- ③ **共用 PC の注意**: ブラウザにパスワードを保存(記憶)させてはいけません。
- ④ **送信前の再確認**: メール宛先ミスは情報漏えいの原因です。一呼吸おいて確認を。
- ⑤ **離席時はロック**: わずかな時間でも、第三者に操作されないようサインアウトかロックを徹底してください。
- ⑥ **紛失・盗難対策**: USB メモリ等の持ち運びは最小限にし、データは暗号化しましょう。

04 ウイルス感染を防ぐ

- ⑦ **怪しいメールは無視**: 心当たりのない添付ファイルやリンクは開かず、すぐに削除してください。
- ⑧ **常に最新の状態に**: OS や対策ソフトの更新(アップデート)は、通知が来たらすぐに行いましょう。
- ⑨ **外部メディアのチェック**: USB 等を使う際はスキャンを。もし感染が疑われたら、すぐにネットワークから切断してください。

05 学内システムの正しい使い方

- ⑩ **目的外の利用禁止**: 大学の設備は学習・研究用です。娯楽やネットショッピングには使えません。

- ⑪ **設定の変更禁止**：共用 PC へのソフトインストールや設定変更は、システムの不具合につながるため禁止です。

06 トラブルの加害者にならないために

- ⑫ **著作権の遵守**：ネット上の画像を無断で使ったり、違法ダウンロードをしたりしてはいけません。
- ⑬ **不正アクセスの禁止**：他人の ID を使うことや、システムへの攻撃試行は犯罪行為です。